

令和2年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

学校教育目標 めざす生徒像	(1)幅広い教養を身に着け、確かな知識と技能の習得を目指し、真理の探究に積極的な意欲を持つ人間の育成			達成度	A	達成
	(2)責任感と正義感に富み、規律ある行動のできる人間の育成				B	概ね達成
	(3)個性の発見と伸長に努め、主体的に進路を決定する能力を持つ人間の育成				C	やや不十分
	(4)健康で明るく、情操豊かで創造力に富む人間の育成				D	不十分
具体的目標 重点目標	(1)「千年桜計画」の推進（『環境教育』『公共性教育』『安全教育』の三本柱で、主体的に生き抜く力を育てる）					
	(2)魅力ある総合学科教育に向けた取組 (3) これからを生きる力の習得 (4) 心に響く生徒指導の充実					
	(5) 進路指導の更なる充実 (6) 開かれた学校づくりの推進					
自 己 評 価						学校関係者 評 価
分野	評価項目	主な取組み・達成状況	達成度			
学校運営	本校の教育環境	○昨年度に引き続き、入学者数減少に伴う教員数の削減があったが、職員全員が協力しながら、業務に取り組み、様々な分野で成果を上げることができた。特に、今年度は感染防止対策の徹底に努め、臨時休校や日程変更、三密を避けるため学級の二分割や放送による集会、始業式などに切り替えた。 ○7月の豪雨災害には即日からの給水作業や被災家屋へのボランティアに取り組んだ。	B	B		
	本校教員の熱心度		B			
	本校教育への満足度		B			
	地域への貢献度		A			
学習指導	授業のわかりやすさ	○基礎学力と学習習慣の定着を目指すとともに体験活動、探究活動も取り入れ、総合学科の特色を生かすことができた。理解度を高めるために電子黒板やICT機器を活用した授業を積極的に行った。 ○学校設定科目「考究実践」では設定したテーマに沿った探究活動を、地域自治体や商店街などの多大な協力を得て課題解決に向けた学びを実践できた。生徒の自主性や探究心、協働性が育まれた。	B	B		
	成績評価の適切度		B			
	学校設定教科「地域考究」における探究学習の充実度		B			
生活指導	校則規律の順守	○毎朝、挨拶や遅刻、服装などについて地道な指導を継続している。交通安全や登下校のマナー指導についてもPTA生活指導部の協力を得て教職員で取り組んだ。 ○いじめ等の未然防止や早期発見に向け、日常的に丁寧な観察や生徒が相談しやすい環境体制を作り多くの生徒と関わりを持つことができた。	B	B		
	生活指導の徹底度		B			
	生徒の理解度		A			
進路指導	進路指導の充実度	○企業訪問やインターンシップが中止となる中、各種の講話や進路別集会等は、PTA及び行政、企業の地域人材派遣等の協力を得て実施することができた。 ○例年に比べ限定された形でのアプローチしかできなかったが、進路希望にできるだけきめ細かく対応できるように努めた。	B	A		
	進路情報の伝達		B			
	進路目標達成度		A			
部活動等	指導体制の充実度	○感染予防対策を講じながら各種目等のガイドラインに則り活動しており、各部の活躍が学校全体に活力を与えている。男子ハンドボール部は県高校選抜大会1位、全国大会2回戦進出、スキー部は東北大会男子フリー2位、女子リレー4位、全員全国大会出場、女子リレー全国9位入賞、情報処理部は県新人大会2位、3年生大会団体1位、個人の多数上位入賞という結果を残している。 ○学校行事は、延期や縮小を余儀なくされる中、生徒たち自身ができることは何かを考え、学園祭やクラスマッチを実施し、成功裡に導いた。 ○家庭クラブ「そばガールズ」は県家庭クラブ研究発表大会において4年連続最優秀賞を獲得している。	B	A		
	部活動実績		A			
	学校行事		A			
PTA等	学校情報の周知度	○「北村山高校ニュース」や「学校だより」により本校の活動を発信した。最北地区高P連広報誌コンクールで地区代表の2校に選出された。 ○PTA活動は大幅な変更や縮小、廃止などがあり当初の予定をほぼ実施することができなかった。7月の豪雨災害で甚大な被害を受けた地元での貢献活動を実施した。尾花沢市では給水ボランティア、大石田町では部活動単位で水害復旧ボランティアを行った。 ○保健課と協力しながら感染症予防の徹底や消毒等に取り組んだ。	B	A		
	PTA活動		B			
	清掃活動の徹底度		B			
	生徒の健康管理		B			
総括	○今年度は新型コロナ感染拡大防止のため様々な制限及び自粛を強いられる中、生徒及び教職員、保護者そして地域が協働しながら、可能な範囲で日々の教育活動・学校行事等について取り組んできた。このような世の中だからこそ生徒たちの自主的・協働的な学びも展開され、成長が感じられたことは嬉しい限りである。 ○7月の豪雨災害時に行った給水活動及び復旧ボランティアに対して、尾花沢市・大石田町より感謝状をいただいた。今後も地域に根差した活動を通し地域に貢献し、愛される学校を目指す。 ○「〇〇をやるために入学したい」という中学生を増加させるために、本校ならではの特色を再構築し地域にPRを続けていく。					

